

製図試験.com R08 受講ガイド

2026

ver.260619



- Cpt.0 はじめに
- Cpt.1 なぜ9月に失速するのか
- Cpt.2 製図試験.comの答え
- Cpt.3 学びの流れ
- Cpt.4 コース体系と教材内容
- Cpt.5 スケジュール
- Cpt.6 選ばれてきた理由
- Cpt.7 コース費用
- Cpt.8 スタートに向けて
製図試験.comについて
- Cat.9 申込みに関する注意事項

Cpt.0 はじめに—本年度合格と決めたあなたへ

後半戦通信添削コース 受講生募集

学科試験が終わると、多くの受験生はこう感じます。

「何から始めればいいのかわからない。」

「独学でやってきたけれど、本当にこれで大丈夫なのだろうか。」

「エスキースはまとまる日もあるけれど、再現性がない。」

「今年こそ受かりたい。」

実は、この時期の迷いは特別なものではありません。問題は、その迷いを放置したまま9月を迎えてしまうことです。

製図試験.comでは、25年間の指導経験の中で、3000名以上の受験生を見てきました。

そこでの知見は、

**不合格になる受験生は、「知らない」から落ちるわけではありません。
同じミスを、本試験まで修正できないまま持ち込んでしまう方です。**

後半戦通信添削コースは、本試験での不合格要因を一つずつ潰し切ることを目的としたコースです。

学科試験後からスタートする方でも十分間に合います。

ただし、迷いを放置したまま9月を迎えないことが戦略的には最重要です。

Cpt.1 なぜ9月に失速するのか（受験生がつまずく3点）

多くの受験生は十分すぎるほど学んでいるはずなのに、なぜ迷いが積み重なってしまうのでしょうか。

理由は、とてもシンプルです。**判断の順序を乱すような出題になっている試験だから**です。

そして懸命に学んでいる方ほど、その対策をしていないまま9月を迎えてしまいます。

① 毎回違うことに悩む

読解、動線、コア、ゾーニング……その場その場で悩み続けるため、改善が積み上がりません。

② 添削を受けても次に活かさない

「なるほど」と思って終わり。次の課題では、また同じところで迷います。

③ 本番で時間切れになる

最後に整合を取ろうとして破綻。成立条件の確認までたどり着けず、時間切れになります。

これらは能力の問題ではありません。「どこを整えればよいか」が見えていないだけです。

Cpt.2 製図試験.com の答え（判断の軸 = 成立 / 方向）

迷いに対して判断の軸があれば、その状況は整理されるはずですが。

成立条件 (det)

成立条件とは、課題が成り立つために必ずそろえておくべきことです。問題文に書かれていることを、漏れなく・的確に捉えて準備すること。これらを揃えると、答案として「スキのない」プランになります。

方向判断 (jud)

方向とは、建物の「方向性」を決める視点 “方向判断”です。

方向が定まると、部屋の散らばりが止まり、プラン全体がひとつの考え方でまとまります。

この **成立条件 (det)** と **方向判断 (jud)** をむやみに混ぜることなく読解すれば、判断の流れは安定し、迷いが小さくなります。一級建築士設計製図試験とは、不合格要因を排除した答案を成立させる試験です。だからこそ、添削でも、講評でも、解説でも、見るポイントは同じです。どこで迷ったのか。なぜその判断になったのか。その積み重ねによって、「置きにいける答案」を本試験までに仕上げることが最も重要な学び方なのです。

Cpt.3 学びの流れ（ステップエスキース × 製図試験 LAB × 新添削システム）

製図試験.com の添削の目的は、同じミス、本試験までに繰り返さないこと。です。

課題提出 → 情報共有 → 解説視聴 → 添削返却 → Zoom 講評 → 変形課題で再確認 → 次の課題へ

このサイクルを繰り返し、判断の流れを整えていきます。

そのため「ステップで攻略するエスキース」をベーステキストとして利用しています。

① ステップによる読解

最初のステップは問題文を正しく「読解」することです。ただ課題文を追うのではなく、問題文としての仕組みをおおよそ **70 分程度**かけて、しっかり分析して読解します。

② 3 段階のエスキース

プランをまとめるエスキースについては 3 段階に分けています。

- **ゾーニング** 部門配置を各階に行うこと、階振り分けをゾーニングと称しています。
- **コアゾーニング** ゾーニングされたプランに、コア（階段・EV） + 大空間・吹抜けをゾーニングします。
- **コマプランニング** ゾーニング・コアゾーニングでできた骨組みに、暗記したプランを入れ込みます。

エスキースの重要な点は、このプロセスが 3 行程に分かれており、かつそれが一連の流れとして繋がっていることを理解することです。これは“判断の順序”を体に落とし込むための中心的な作業であり、習熟が必要です。

③ 添削 + 教材 + zoom 講義 + サポートサイト BAND + 製図試験 LAB

学習を深めるために、課題添削・各種教材群・zoom 講義・サポートサイト BAND・製図試験データベースの製図試験 LAB があります。



Cpt.4 コース体系と教材内容

コース体系

受講コースは 3 種類用意しています。

①教材のみのコース 1、

教材コースでは、添削指導以外のほぼすべてが利用できます。

②10 課題の添削を加えたオンライン添削コース 2

メインコースです。教材に加えて、図面を「直す」ためではなく、判断の流れを整えるための添削を行います。

③添削とスクーリングを含めたコース 3

東京・大阪において、教材に加えて添削・スクーリングでの直接指導を行います。

教材及びサポート内容

| 教材 | 内容 | 目的 |
|--|---|-------------------|
| Udemy 基礎講座 | エスキース・要点・作図のアプリ講座 | 基礎力のためのスキマ学習教材 |
| オープン課題 | 課題発表当日の本年度対応課題 | 本試験概要をイメージ |
| 本年度課題 4 課題 | 本年度対応メインの 4 課題 | 本試験仕様の判断力の鍛錬 |
| 変形課題 4 課題 R | 上記 4 課題の変形課題 | 対応力の知見を広げる追加課題 |
| 本年度課題分析帖 | 本年度課題オリジナル分析テキスト | 知識のベース (8 月中旬発行) |
| 本年度対応パーツ集 | 本年度課題用のオリジナルプランパーツ集 | プランニングの基礎 (9 月上旬) |
| 基本問題集 | 想定される出題パターンの補強問題 | 課題の少なさに不安な方のために |
| シンクロニ模試 | 9 月 27 日 (大阪 26 日) 最終模試 | 時間配分と判断の安定化 |
| 他社分析課題 | 他社の最終動向を確認 (プランのみ) | 想定予想問題 |
| サポート | | |
| 夏期講習会 | 8 月中旬、東京・大阪・オンラインでの集中講義 | |
| まとめの講習会他 | シンクロニ模試の後、本年度課題の総まとめ講習会 | |
| Zoom 講義 | 添削前レビュー、課題解説、総評、まとめ。 1 課題につき 4 回程度実施 (録画あり) | |
| BAND サポート | 疑問はすべて 24 時間対応で質疑に回答します | |
|  製図試験 LAB | オンラインでの添削の受け渡し、製図試験専用 GPT、 ミス共有ノート、ローカルルールブック、ステップエスキースのパッケージ | |
| 別枠 | | |
| ステップで攻略するエスキース | すべての基礎となるテキストですが、所有されている方が多く、別売としています。 (学芸出版社刊行) | |
| 用紙セット | コースにエスキース・作図用紙が 10 枚ずつ付いていますが別途購入可能です。 | |
| 添削 | 後半戦では最大 10 課題分の添削が含まれています。 11 課題目からも別途費用で受け付けています。(コース 2 : 5,000 円/課題) | |
| 漢塾 (おとこじゅく) | 関戸講師が東京で行っている自主ゼミです。費用は別途となります。 | |

Cpt.5 スケジュール

製図試験.com のスケジュールは、本試験当日から逆算して考えることを重視しています。

7 月末から、基礎知識、課題分析、問題対応、弱点補強、まとめクールダウン、の 5 つのフェーズに分けて進めます。

製図試験後半戦攻略スケジュール

ver.2026/06/19

| 項目\日程 | 7月 | 8月 | | 9月 | | 10月 | 備考 |
|-----------------|-------|------|------|----|-----|-----|------------------|
| | 基礎知識力 | 課題分析 | 問題対応 | 弱点 | まとめ | | |
| 学科試験(7/26) | 学科○ | | | | | 製図○ | |
| 課題発表(7/24) | ○ | | | | | | |
| 課題説明会キックオフ | ○ | | | | | | オンラインで開催 |
| オンライン合格基礎講座 | | | | | | | 4月からスタートいつでも受講可能 |
| オープン課題 | ○ | | | | | | 無料公開の学習レベル判定課題 |
| 後半戦通信添削コース | | 1 | 2 | 3 | 4 | | コース1/2/3 あり。 |
| 条件変更課題 | | R | R | R | R | | |
| 基礎問題集3課題 | | | ○ | | | | 基礎問題集(問題/解答のみ) |
| 本年度パーツ集 | | | | ○ | | | 本年度用パーツ集 |
| シンクロ模試 | | | | | | ○ | 上記コースに含まれます。 |
| 直前講習会 | | | | | | ○ | 模試当日夜に直前まとめを開催 |
| 他社分析課題 | | | | | | ○ | 他社課題分析 |
| セミナー (東京・大阪O/L) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 計6回程度を予定 |
| 製図試験(10/11) | | | | | | 製図○ | |

通信添削コースの主な工程と日程です。

課題トライ→提出→レビュー→zoom 解説→添削共有し復習→変形課題→本番対応力アップ!

■通信添削後半戦コース日程予定

2026/6/19現在

| 前/後 | 課題NO | code | 問題送付 | 問題トライ | 答案メ切 | zoom | 解題解説 | 添削返却 | 添削図解説 | 備考 |
|------|--------|------|--------------------|-------|------|------|------|-------|-------------|-------------|
| | 原則日程 | 4桁 | 水曜日 | 日曜日 | 翌月曜日 | 翌木曜日 | 翌土曜日 | 翌々水曜日 | 次木曜日 | 変則日程 |
| | オープン課題 | 100 | 7/25 | | | | 添削なし | | 添削なし | 基本概要 (添削なし) |
| 後半戦 | 1 | 101 | 7/31 | 8/2 | 8/3 | 8/6 | 8/8 | 8/13 | 8/14 | 手順を身につける |
| | 1R | 101R | 夏期講習課題として位置づけています。 | | | | | | | |
| | 2 | 102 | 8/12 | 8/16 | 8/17 | 8/20 | 8/22 | 8/26 | 8/27 | 弱点補強・時間内トライ |
| | 2R | 102R | — | 8/23 | 8/24 | — | — | 随時 | 8/27 | |
| | 3 | 103 | 8/26 | 8/30 | 8/31 | 9/3 | 9/5 | 9/9 | 9/10 | 弱点補強・時間内トライ |
| | 3R | 103R | — | 9/6 | 9/7 | — | — | 随時 | 9/10 | |
| | 4 | 104 | 9/9 | 9/13 | 9/14 | 9/17 | 9/19 | 9/23 | 9/24 | まとめ |
| | 4R | 104R | — | 9/20 | 9/21 | — | — | 随時 | 9/24 | |
| | 模試 | 105 | 9/23 | 9/27 | 9/27 | 9/27 | 9/27 | 9/29 | 10/5 | 10月6日最終受付 |
| 他社分析 | 106 | — | 10/8 | — | 10/8 | 10/8 | — | — | 参考課題 (添削なし) | |

その他に基礎問題集あります。予定は予告なく変更する場合があります。

第 1 課題については、例年、夏期講習会や課題分析帖との兼ね合いもあり、添削は遅れ気味になります。

Cpt.6 製図試験.com が選ばれてきた理由

製図試験.com がこれまで 25 年に渡って、受験生から支持されてきたのには理由があります。
それは、大きな組織でも派手な仕組みでもなく、ただ「本当に必要なものを積み上げてきた」からです。

▶ 出題者の視点

主催する代表・山口の解説は、「試験を“外側”から見る視点」そのものです。
出題者が何を見ているのか、どういう判断を評価しているのか。
この視点があることで、学びが本番に直結します。

▶ 全員の解答・添削が共有される集合知

非公開としない限り、全員の解答・添削が閲覧できます。
他受講生の判断が見える環境は、それだけで学びの加速装置になります。
同じ課題でも迷うポイントは違う。その差に気づけるだけで判断の精度は大きく変わります。

▶ 組織ではない柔軟性

必要な教材をすぐ作り、必要な改善をすぐ行います。
現場の変化や受験生のつまずきに合わせて、最短距離で軌道修正できる“小ささ”が強みです。

▶ band / Zoom の即応性

迷いをその日のうちに解消する。判断が揺れた瞬間に立て直す。
オンラインの応答性は、学びの継続に直結します。

▶ 続けられる価格

途中で諦めなくて済む価格設定であること。
「続けられる環境」は、技術と同じくらい大切です。
これらはすべて、25 年間「実務としての製図試験教育」を続けてきた土台そのものです。
派手ではありませんが、本質だけが残り続けた証だと考えています。

▶ こんな方におすすめします。

- 独学で不安
- 添削を受けても伸びない
- エスキースがまとまらない
- 今年で決めたい
- 学科後から本格スタート

Cpt.7 コース費用

各コースの費用は以下の通りです。教材・サポートは、Cpt.4 コース体系と教材内容一覧をご参照ください。

(税込価格)

| | 教材一式 | 製図LAB | ZOOM講義 | 添削 | 通塾 | 初利用費用 | 既利用割引 |
|--------|------|-------|--------|-------|----|----------|----------|
| 教材コース1 | ○ | ○ | ○ | オプション | — | 110,000円 | 95,000円 |
| 添削コース2 | ○ | ○ | ○ | 10 課題 | — | 210,000円 | 190,000円 |
| 通塾コース3 | ○ | ○ | ○ | 10 課題 | ○ | 310,000円 | 280,000円 |

PDF 割引：コース 1/2 については、用紙以外の資料・添削を全て PDF で行う PDF 割（1 万円引）があります。

早期申込割引：7 月 27 日までにコース 2/3 をお申込みの方には、早期申込割引として 1 万円引きをいたします。

早期申込特典

6 月 19 日から本年度課題発表の 7 月 24 日までにお申し込みいただいた方には、早期申込割引に加えて

前半戦シンクロ模試「宿泊機能のある国際交流センター（基準階型）」の問題・資料・解答例を提供します。

近年増えている基準階型課題への対応力向上と、学科試験後の初動を早めることを目的として実施するものです。

本年度課題の基本スケジュールは下記の通り進めています。

2026年度（R07）製図試験.comコース2/3スケジュール（予定）

2026/6/19

| Term | NO | カリキュラム | O/L大阪（土） | 東京（日） | 山口 | 全体予定・備考 |
|------|-----|---------------|--------------|---------|------|----------------|
| 基礎構築 | O/L | オープン課題（課題発表） | 7月24日 | | O/L | 本年度課題を当日配信 |
| | O/L | 課題解説ガイダンス | 7月27日 | 7月28日 | ○ | O/L・直接面談も含め開催 |
| | 1 | 第1課題トライ | 8月1日 | 8月2日 | * | 当日振り返り予定 |
| | ☆ | 本年度課題分析帖発送 | 8月7日オンラインデータ | | — | 紙ベースは8月15日予定 |
| | 1R | 夏期講習会 | 8月8-9日 | 8月13-4日 | ◎ | 1日目エスキース・2日目作図 |
| | 2 | 第2課題トライ | 8月15日 | 8月16日 | * | 当日振り返り予定 |
| | 2R | 第2課題講習 | 8月22日 | 8月23日 | ○ | 同課題の講習＋演習 |
| | ☆ | 基本問題集発送 | 8月26日予定 | | — | 3-4問の予定 |
| | 3 | 第3課題トライ | 8月29日 | 8月30日 | * | 当日振り返り予定 |
| | ■ | 学科試験合格発表 | 9月3日 | | ■ | 学科不合格者返金 |
| | ☆ | 本年度パーツ集発送 | 9月4日予定 | | — | 20ページ程度 |
| | 後半戦 | 3R | 第3課題講習 | 9月5日 | 9月6日 | ○ |
| 4 | | 第4課題トライ | 9月12日 | 9月13日 | * | 当日振り返り予定 |
| 4R | | 第4課題講習 | 9月19日 | 9月20日 | ○ | 同課題の講習＋演習 |
| 5 | | 後半戦シンクロ模試 | 9月26日 | 9月27日 | ○ | 直前講習会あり |
| | | 直前まとめ | 10月3日 | 10月4日 | ○ | 最終確認 |
| 直前 | 6 | 直前まとめ課題＋まとめ資料 | 10月7日（水） | | O/L | 資料送付＋解説 |
| | ■ | 製図試験 | 10月11日 | | ■ | 当日に速報予定 |

後半戦は4課題＋変形4課題＋模試＋オープン課題＋基本問題集3課題＋直前まとめ課題

↑○山口参加、*自主ゼミ、O/Lオンライン山口参加

課題数が足りない方は別途個別対応として課題を用意します。上記は全て予定ですので、日程や内容を変更することもあります。

Cpt.8 スタートに向けて

本試験まで、残された時間は決して長くありません。

しかし、十分に間に合う時期でもあります。必要なのは、新しい知識を増やし続けることではなく、「自分が崩れるポイント」を知り、「そこを整えること」です。

本試験当日、落ち着いて答案に向き合える状態をつくること。それが後半戦の目的です。

今年で決めたい。

そう思っている方と、一緒に走りたいと思っています。

26年間以上、3,000名以上の合格者と向き合ってきた経験をもとに、最後まで伴走します。

皆さんの挑戦をお待ちしています。

2026年6月19日

製図試験.com 代表 山口 達也

製図試験.com について

(<https://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D.教育事業部

大阪事務局

〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3階
電話 06-7181-3701 FAX 廃止
メール：guchi@seizushiken.com
本年度大阪講習会場を別途借りる可能性あり。

東京講習会場

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33
COMS HOUSE 2F としまち研 会議室

指定金融機関

① アイエルディ
Paypay 銀行 すずめ支店 普通 3175127
ゆうちょ銀行 ○九九店 当座 0222802
郵便振替：00970-2-222802

代表：山口 達也（ハンドルネーム：曾根 徹） 1962年11月26日生
大阪工業大学建築学科都市計画研究室
神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）
阪神電鉄就職後、レンゾピアビルディングワークショップに転職。
都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、
有限会社 I.L.D.を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、
2000年に製図試験.comの前進である「学科製図.com」を設立。
26年間で3,000名以上の一級建築士を輩出。
2015年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。
2025年まで阪南大学非常勤講師
2026年よりAIを導入し、製図試験 LAB 開設

このテキストは 2025/12/12 現在のものです。コンテンツの無断利用は固く禁じます。



Copyright ©製図試験.com All rights reserved.

Cpt.9 申込みに関する注意事項

製図試験.com のコース及び製図試験 LAB は、製図試験に向き合うための、**考え方や判断の整理を中心に据えた学習環境**です。そのため、一般的な資格講座や、解答や完成図を提示するタイプの学習サービスとは、考え方や進め方が大きく異なります。お申込みにあたっては、以下の点について、あらかじめご確認ください。

・合格について

残念ながら、本講座は合格を保証するものではありません。製図試験.com では、解くことよりも、なぜその判断に至ったのか、どこで迷い、どこで整理が必要だったのか、といった判断の過程を整えることを重視しています。

結果として合格に近づくことはありますが、短期間で成果や、特定の結果を約束するものではありません。

・学習内容について

本講座では、エスキース解題、解答例、解説動画を含む製図試験 LAB において、暗記する重要性は認識していますが、暗記することを目的とはしていません。

どこを先に整えるのか、どこから判断してよいのか、どの段階で迷いが生じやすいのか、といった考え方の整理と判断の順序を扱います。そのため従来の資格学校での学習スタイルとは異なるため、合わない可能性もあります。

・学習の進め方と成果について

学習の進捗や成果には、個人差があります。

同じ内容を扱っていても、整理に時間がかかる方、試行錯誤を重ねる方など、進み方はさまざまです。

製図試験 LAB では、学びにおいて、他者との比較や競争を前提としていません。

自分自身の判断が、少しずつ安定し完成していくことを、学びの指標としています。

・内容の変更について

講座内容や運営方法については、試験制度の変更や、学習環境の改善を目的として、途中で一部調整する場合があります。いずれも、より良い学習環境を維持するためのものなのでご了承ください。

・返金・途中解約について

本講座では、諸般の事情による途中解約による返金は設けています。合格基礎講座分を除いた課題の進捗状況にあわせて、残金を返金いたします。ただし課題などを行わないまま、提出していない分の返金はありません。

時間経過語に後からの返金はできませんので、諸般の事情発生に伴い、随時速やかにご相談ください。

・カード決済・分割払いについて

本講座のお支払いについては、カード情報の保管をたくないため、銀行振込による先払い決済のみを採用しており、カードや電子決済は利用できません。

代わりに分割払いは受け付けています。条件としては 2 回払いは手数料なしで、3 回払い以上になる場合は、1 回毎に手数料 1,000 円が必要になります。また分割支払いは 9 月 30 日までに全額支払うこととしておりますのでご注意ください。

最後に

製図試験.com は、「学び方を整えること」に価値を感じられる方と、共々に向き合うことを前提としています。

内容に納得いただいた方は **製図試験.comSTORE** (<https://seizushiken.com/welcart>)

からお申し込みください。最後まで読んでいただきありがとうございました。

Cf : 製図試験 com 利用検討ルートマップ

製図試験 com には何段階もの利用ルートがあります。わかりにくいということでルートマップを作成しました。不明な点はいつでもご質問ください。

無料メルマガ登録 → (NO) → 解除

↓ <YES>

受講ガイドダウンロード

「ステップで攻略するエスキース」購入

↓ <YES>

オンラインガイダンス講習 (7/24 以降)

無料面談

↓ <YES>

7/24 オープン課題トライ

↓ <YES>

銀行・ゆうちょ振込

↓ <YES>

通期コース申込み (※1 教材・2 通信・3 通学)

↓ <YES>

銀行・ゆうちょ振込

↓ <YES>

コーススタート

→ (NO) → 他校・独学

すべての情報はメルマガで配信します

気に入ったら受講ガイドを御覧ください
またテキストのご購入をオススメします

ガイダンスセミナーオンラインで配信
面談はいつでも受け付けています

自己分析のための課題を公開

エスキースと添削の基礎を学ぶ
合格基礎講座もあります。

<先払い制>

※コースの違い 1 教材・2 通信・3 通学

コース 1 : 教材コース

合格基礎講座・作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトが含まれています。

コース 2 : オンラインコース

合格基礎講座・作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトに加えて、

後半各 10 回分の添削が含まれています。

コース 3 : 通学コース (東京・大阪のみ)

作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトに加えて、

無制限の添削と、前半戦隔週、後半戦毎週の講習 + 自主ゼミが含まれています。

最もコストパフォーマンスが高いです

メインのコースです

人数には上限があります。